



2017年5月10日

各位

会社名 テルモ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 佐藤 慎次郎
 (コード: 4543、東証第一部)
 問合せ先 広報室長 大曲 昌夫
 (TEL 03-6742-8550)

個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

2017年3月期(2016年4月1日~2017年3月31日)の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 当期(2017年3月期)個別業績と前期実績値との差異

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----------|----------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 前期実績(A) | 百万円 287,136 | 百万円 65,306 | 百万円 64,167 | 百万円 46,006 | 円銭 122.68 |
| 当期実績(B) | 277,347 | 54,727 | 69,492 | 65,593 | 181.63 |
| 増減額(B-A) | -9,789 | -10,579 | 5,324 | 19,587 | — |
| 増減率(%) | -3.4% | -16.2% | 8.3% | 42.6% | — |

2. 差異の理由

営業利益の主な減少要因は、円高による外貨建て売上高の円換算額の減少、海外への生産移管に伴う国内での利益減です。

当期純利益の主な増加要因は、株式の売却に伴う特別利益の計上と法人税等の減少です。当社は、オリンパス株式会社との合意に基づき、当第4四半期に当社が保有する同社の全株式を売却し、特別利益157億円を計上しました。また、税制改正に伴い実効税率が下がったことに加えて、繰延税金資産の回収可能性に関する会社分類が変更となり、繰延税金資産の認識可能範囲が拡大したことなどに伴い、法人税等が前期比で101億円減少しました。

以上